

# 飛躍

仙台市立錦ヶ丘中学校

第三学年 No. 24

2019. 11. 8

文責 千葉佐和子

## それぞれの思いを歌に

先日行われた合唱コンクールでは、各審査員の先生方から講評をいただきました。下記に載せましたので、卒業に向けて参考にしていきたいです。また、生徒たちからの感想もそれぞれの思いがこめられ、本当にすばらしい行事になったと思います。何人かの感想をご紹介します。

### 講評

- ①歌詞の持っている抑揚、リズムに作曲者がメロディをつけていくので、その曲のメロディ、歌詞の特色をしっかりと伝えていく歌い方を意識すること。
- ②口の開け方を訓練すること。あいうえお・いうえおあ・うえおあい・・・を一息で言えるように練習するとよい。(これを五十音すべて行う) 人に伝えるためには努力が必要である。
- ③ステージでリラックスして歌えるように考える。緊張すると声がうまく届かないことが多い。
- ④日本語は、世界でも難しい言葉であり、美しい言葉でもある。1～2小節でひとまとまりで文章が成立している。練習するときは、まとまりで練習するとよい
- ⑤ハーモニーの作り方、ユニゾンからパートに分かれるときにどうしてもボリュームが下がってしまうので、指揮者がバランスをとるとよい。歌っている方も、指揮者に頼るのではなく、まわりの声を聞きながらバランスをとり、ハーモニーを作り出すことが大切

### 生徒の感想

最初に曲が決まったときはしっかりと完成するか本当に大丈夫か不安まみれでした。最初は、みんなで1つという感じがしなかったけど、だんだんクラス全員でよりよいものを作ろうという雰囲気が出てきたのが、うれしかったです。みんなに合唱がとてきれいで、きれいすぎてその分ピアノをたくさん練習しました。みんなが一つになってきたよい練習だったと思います。

今年の本番は3年間の合唱コンクールの中で一番緊張しました。でも演奏が終わると、ものすごい達成感がありました。素敵な指揮者と素敵な合唱のもとで、伴奏をひけたことが本当にうれしかったし、3組でよかったと改めて思いました。本番が終わった後のみんなの笑顔と感動はずっと忘れられない思い出になりました。 組



休憩時間  
にて



あまり声がでていなくて、歌詞が分からない、音が分からないなどと言いつてをして全体的にぼんやりとした合唱をリハーサルで発表してしまいました。リハーサル後、これではマズイと思い意識を変えて練習しました。本番までに2回ほどいい合唱ができたことがあって、とてもよかったなと思えました。

みんな緊張して、リハーサルの時と同じようになるのではないかと不安でしたが、今までの練習の成果や一歩大人に近づいたようなよい合唱できてよかったです。輝美先生も聴きにきてくれて、うれしさもあり、安心感もあり、のびのびと合唱ができたと思います。 組



1, 2年生の時よりも最初からやる気がみんなあってすごいなと感じました。はじめの方は全員の歌も気持ちもバラバラだったけど、練習を重ねるにつれて歌詞への思いが、指揮、伴奏も含めてそろっていくのが感じられて毎日の練習がとても楽しかったです。指揮者がメインで全体への注意をしていましたが、歌っている人たちが感じたことも積極的に言うようになって、練習がとても進みやすく「クラスみんなで作り上げている感」が強かったです。上手い出来ないことがあってもクラスみんなが提案をしてくれて、よい取り組みができたと思います。

本番は今まで練習していた場所よりも広く、緊張してしまいましたが3年生のトップバッターにふさわしい演奏ができたのではないかと思います。練習で苦手だったところは本番前のリハーサルでやれることをやりつくし、なるべくおかげさにと目標を立てて演奏しました。今年は、あまり目立つミスはなかったかなと思います。賞としていい結果を残せませんでした。練習でやってきたことを全てだしきれたので、悔いはありません。クラス全員で1つの目標に向かってがんばれたのでとてもよかったです。

組



「群青」という曲を歌うということが決まってから、私たちは本番に向けて練習に励んできました。その結果を通して、声量や声の強弱、言葉の発音など、様々なことを頭に入れました。しかし、練習で学んだことはそれだけではありません。どのような態度で臨むか、そしてどのような思いで歌うのか。そこまで考えて取り組んだことが、このクラスにとっての成長なのではないかと思いました。

リハーサルの時と比べ、のびのびと歌うことができ、実力を出し尽くすことができたと感じています。これまでに練習で学んできた全てのことをホール全体に歌声として響かせることができました。クラス全体が一丸となって取り組み、一生残るであろう思い出を作れたことはとてもうれしかったです。そして門馬先生が話してくれたこの曲に込められた思いを聴く人に届けることができたと思います。

組



初めて指揮をして、分からないことがたくさんあったけれど、クラスみんなが支えてくれてとても助かった。声が小さくて何を言ってるか分からなくて伴奏の暖可さんに頼ってばかりでしたが、だんだんみんなへの指示をきちんとすることができたと思うのでよかった。言ったことはすぐに実行してくれてとても練習がしやすかった。当日が近づくにつれてみんなの真剣さが伝わってきて、私も指揮をみんなのために完璧にしようと思えた。

本番では、あまり緊張せずに集中して指揮ができたのでとてもよかった。思い通りに行かなかったところもそれぞれあると思うが、みんな団結して最後のコンクールを楽しめたと思う。指揮者賞をとれたのは、本当にクラスみんなのおかげなので、これからも周りの人への感謝を忘れずに過ごしたいと持った。本番で良い演奏ができてとても楽しかった。今までの練習の成果を無駄にしないような演奏だったと思う。

組